

第1回都市部におけるコミュニティの発展方策に関する研究会(7月10日開催) における主な議論について

【検討の視点・議論の進め方等】

- 人口減少社会の中で、どのようにコミュニティを維持・発展させていくかがこの研究会の大きなテーマであり、マンション管理組合を基盤に、具体的に考えることができないか。
- 地域活動に主体的に関わる動機があるマンション管理組合をどう取り込んでいくかということが非常に論点として重要。
- 市区町村、自治会とマンション管理組合がどのような関係で協力し合うのが良いのか、マンションの規模・築年数や自治会・町内会への加入の有無など、場合分けをした上で議論をすべきではないか。
- マンション内のコミュニティも含めて、地域とどう連携していくかを検討していくことが重要ではないか。
- 地域が自らの防災力を高めるための取り組みをバックアップするような体制が必要。
- 特に災害弱者については、強制力を持って居住者名簿等の情報を共有すべきだといった方針を示しても良いのではないか。
- 防災や災害弱者等の個人情報保護の問題だけでは括れない、地域における活動に役立つような様々な情報をこの研究会で提供できると良いのではないか。
- 今後とるべきコミュニティ施策として、学校教育とのリンクという視点も重要。